

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2021年6月9日
 派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	長野市	代表者名	市長 加藤 久雄
担当者部署	農林部	連絡先電話番号	026-224-5098
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	矢野 正徳
住所	380-8512 長野県長野市1613番地		

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	小林 一樹
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	農業経営の改善を図ることを目的に行ったもも生産に関する作業の効率化や省力化の実現に向けた協議の場において、地域情報化アドバイザーから助言をいただきながら現状の洗い出しや課題の整理など行うことができた。特に、課題に関する国内での事例紹介や類似した研究成果からの提案など、適切な助言をいただいた。
アドバイザーへの要望事項	専門的な知識や研究実績を有する地域情報化アドバイザーの助言により、今後もスマート農業の推進を図りたいため、もも生産者で組織する団体及び長野市スマート農業推進協議会の取り組みに対する助言、支援をお願いしたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2021年6月3日	18時00分	19時30分		90
3-2. 派遣場所	会場名	JAグリーン長野東部青果物流通センター		最寄駅	JR篠ノ井駅
	所在地	長野市篠ノ井東福寺1940		最寄駅からの交通手段	徒歩等
	派遣形態	支援・助言 (実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】 ももの生産者グループ	人数 16 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	露地栽培のももの生産工程において、ロボットやAI、IoTなどの先端技術の活用によるスマート農業の導入が難しい状況である。農作業の効率化や生産性の向上を図るためには新たな視点と先進技術を用いて課題を解決していく必要がある。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	スマート農業の推進を図ることにより、農作業の効率化や省力化の実現のほか、もも生産者の経営改善及び新規就農者が就農しやすい環境整備をする。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	露地栽培のもも生産において、生産工程の効率化や生産性の向上を図るために必要となる先進技術導入事例やデータ駆動型農業の実現に向けた助言や提案があった。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	スマート農業に関する先進技術導入事例やデータ駆動型農業の実現に向けた提案などの助言により、露地栽培のもも生産工程の効率化や生産性の向上のための解決策や方針作成などに関する方向性の整理ができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	<input type="checkbox"/> ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	現状の洗い出しや課題の整理ができたが、どのような調査・研究を行い、どのような対策を行っていくのかをまとめた事業実施計画の作成などについては未着手である。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 第1回目の会議であり、現状の洗い出しや課題の整理を行う内容であったため、アンケートは実施しなかったが、参加者とアドバイザーは充実した意見交換ができたことで、有意義な会議となった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	<input checked="" type="checkbox"/> ①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	スマート農業の推進を図り農作業の効率化や省力化の実現により、もも生産者の経営改善を図るとともに、新規就農者が就農しやすい環境を整備を目指す。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

